

令和3年度事業計画

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、日本のみならず、世界中に観光需要の縮小・蒸発を引き起こしたため、日本におけるインバウンドを頼みにした観光施策に再考を促すこととなった。

4月、5月に実施された「緊急事態宣言」により飲食店や宿泊事業者、公共交通機関の担い手である交通事業者などの移動を軸とする事業者が、需要激減により大打撃を受けたことは記憶に新しい。

このようなコロナ禍の中で、自宅から1、2時間程度の距離で観光を楽しむ「マイクロツーリズム」が注目を浴びており、本市においてもキャンプ場などへの来訪者が急拡大するなど、緑豊かな自然環境が観光資源である本市の追い風になっている。

また、リニア中央新幹線の新駅開業や、東京オリンピック2020の自転車ロードレース、ツアー・オブ・ジャパンの開催など、本市の観光誘客の環境は整備されつつあるが、少子高齢化や津久井エリアにおける過疎化による人口流出と、それに伴う地域経済の急速な減速による税収減が予想されるなど、地域振興の活性化が待ったなしの状況にあることには変わりはなく、当協会の果たすべき役割は大きい。

令和3年度については、4月からの公益法人への移行に伴い、観光誘客事業と観光PR事業を2大柱とした事業計画に整理し、観光誘客による地域振興を図ることとする。

第1の柱である観光誘客事業では、従前から行われていた主要イベントへの助成や人的支援、キャンプ場運営などは継続しながら、マーケティングの視点から観光需要を把握した上で、旅行商品の開発など観光需要の喚起に努める。

第2の柱である観光PR事業では、ホームページの刷新やSNSによる情報発信の強化、目的や効果を意識した展示会等への出展、観光写真コンテストの更なる有効活用や、ロケツーリズムの推進等、単なる情報発信にとどまらず、観光誘客につなげるよう、各事業に改善を加えていくこととする。

I 観光振興事業

1. 観光誘客事業

観光需要の把握などマーケティングの視点から、観光資源を発掘し、磨き上げを行う。また、観光人材育成研修の実施やキャンプ場運営を通じて観光誘客に貢献する。

(1) 地域の魅力創造事業

市内の地域資源の調査やモニターツアー等の実施により観光ニーズを把握し、魅力ある体験プログラム・旅行商品の開発や誘客に向けた効果的なイベントを実施する。

①入込観光客調査（神奈川県から受託）

神奈川県が県・市町村の観光施策の基礎資料とすることを目的とする入込観光客の調査業務を受託、旧 4 町の観光協会などへ再委託をし、四半期毎に入込観光客の調査を実施する。

②地域資源の調査

多様な地域資源の発掘と磨き上げを目的に各地域の資源を調査し、観光情報等のデータベース化を図る。

③観光ニーズの調査（モニターツアー等）

本市の観光資源のニーズを把握するために、モニターツアーや各種調査、アンケート等を実施し、顧客のニーズや研究につなげる。

④体験プログラム・アフターコンベンション等旅行商品開発

国内・インバウンド向け体験プログラム、MICE向けアフターコンベンションについて、顧客ニーズを把握し、旅行商品化に向けた検討を進める。

⑤イベントの実施・支援

鮎友釣り大会・魚つかみ取り大会、イルミネーション事業等、本市の観光誘客に資するイベントの実施や支援を行う。

(2) 観光人材育成事業

おもてなしや人材育成等、観光振興に資する研修会等を実施することにより、観光に関わる知識の習得や意識の醸成を高めることに寄与する。

(3) キャンプ場運営事業（相模原市から受託）

市営の上大島キャンプ場及び望地弁天キャンプ場の管理運営を行うとともに、相模川自然の村の公園トイレの清掃を行い、市民に憩いの場を提供する。

2. 観光PR事業

魅力ある観光の情報を各種媒体（メディア、ポスター・チラシ、HP・SNS等）により発信するとともに、市内外の物産展等への出展を通して、効果的なシティセールスを推進し、観光誘客を図る。

(1) 観光情報等発信事業

①HP（多言語含む）、SNSによる発信

ホームページの適宜更新を図り、各種イベントの紹介や観光情報などを市内外に発信、アクセス件数の増加に努める。

②観光や特産品等に関わる紙媒体の作成、配布

市内の観光地や観光施設、特産品等の情報を広く紹介・宣伝するため、PRポスター・マップ・チラシ・ガイドブック等を作成し、配布する。

③相模原市観光インフォメーションコーナーの設置

橋本駅南口・北口の「相模原市観光インフォメーションコーナー」、イオン橋本店6階の「観光情報コーナー」、ポーノ相模大野3階のユニコムプラザさがみはら「地域情報コーナー」において、観光情報の提供を行う。

④相模原市観光親善大使事業

市内外の各種イベント・キャンペーン等に参加する観光親善大使の活動を通じて、本市の観光名所や特産品等の魅力を積極的にPRするなど、本市のシティセールスに努める。

(2) 展示会等出展事業

①さがみはら菓子まつり2021

市内で製造販売されている和・洋・パン菓子及び相模原市推奨銘菓などを広く市民に紹介するとともに、商品の品質や職人の技術の向上を図る機会とし、事業者の育成に資する。

(3) 観光写真コンテスト事業

本市の自然景観、都市景観、行事、祭り、文化財等を対象に「第41回さがみはら観光写真コンテスト」を実施し、その作品を通じて本市の見所を紹介するとともに、観光宣伝用パンフレット、ポスター等への活用を図る。

(4) フィルムコミッション事業（相模原市から受託）

本市の観光振興、地域振興を図り地域経済の活性化につなげるとともに、映像を通して市内外に広く本市の魅力を発信するシティセールス活動の一環としてフィルム・コミッション事業を実施する。なお、津久井地域については藤野商工会に再委託する。

II アンテナショップ等運営事業

本市にゆかりのあるこだわりの特産品や名産品を取り揃え、販売・PRを行う。また、本市のイベント等の観光情報の発信も併せて行い、観光誘客に寄与する。この他、外商事業として、ふるさと納税返礼品などにも対応し、地場産品の販路拡大にも貢献する。

III その他事業

(1) 観光助成事業

各種観光振興に関わるイベントに協賛・助成・後援を行うほか、観光協会会員による市内外の様々な観光イベントや物産展等への出展を通じ、本市の観光地の魅力および特産品等のPR、販売を行う。

また、相模原納涼花火大会、スイーツフェスティバル、菊花競技会、東海自然歩道連絡協会、八・相観光連携事業実行委員会、北条五代観光推進協議会、宮ヶ瀬地域連携DMO、さくらさくプロジェクト等、各種実行委員会・協議会の参画を通じ、人的な支援等も行う。

(2) 大都市観光協会連絡協議会

今年度は幹事都市として、本市を会場に夏季には大都市観光協会連絡協議会総会、秋季には同協議会事務主幹者会議を開催する。

大都市観光協会連絡協議会：東京都及び20の政令指定都市観光協会で構成され、毎年、総会と事務主幹者会議を開催。各都市の抱える課題の情報交換、懇親会、視察研修を実施している。